



全校ぶどう実習 兼 PTA 研修

令和5年9月6日(水) 全校生徒と保護者によるぶどう実習(収穫作業)が行われました。(前回6月の全校ぶどう実習に続き、今回もPTA研修を兼ねての実施となりました。)

1学年と3学年の生徒と保護者は、本校魅力化コーディネーターの鈴木寛太さんのぶどう園場で、2学年の生徒と保護者は、葡萄が丘農業研究所の園場で収穫作業を行いました。今年は天候に恵まれ、ぶどうの生育が早く、きれいに色づいた美味しそうなぶどうがたわわに実っていました。

今までのぶどう収穫作業はワインなどへの加工用ぶどうの収穫でしたが、今回、鈴木寛太さんの園場では、生食用として全国に向けて販売するぶどうの収穫と箱詰め作業まで体験させていただきました。生食用のぶどうは、収穫時から丁寧な取り扱いと箱詰め前の厳しい検品が必要で、ぶどう農家の方々のご苦労を知る良い機会となりました。今回箱詰めできた88箱は、その日のうちにクール宅急便で全国の消費者の方々へ発送されました。





9月9日 「大迫 九日市」

令和5年9月9日(土)、岩手県で最古の市とされる「大迫九日市」に全校生徒で参加しました。

大迫町活性化センターにて「学芸部神楽班による神楽の上演」、「図書委員による大型紙芝居の朗読」を行いました。また、後藤商店さんとなりの駐車場で開催されたフリーマーケットエリアでは「ぶどう販売」「かき氷・わたあめの無料提供」「球根・絵葉書の販売」「バルーンアート体験」に関わらせていただきました。これらの取り組みは、総合的な探究の授業の一環として行いました。

天候には恵まれませんでしたでしたが、生徒は、それぞれの役割を全うしようと取り組み、お客様との会話では笑顔もこぼれていました。

今回の参加につきましては、商店街の方々をはじめとした多くの方々のご協力とご配慮をいただきました。この場を借りて、お礼申し上げます。



オーストリア ベルンドルフ市 ギムナジウム生徒 来校

9月15日(金)の午後、オーストリア国ベルンドルフのギムナジウム生が来校し、歓迎交流会を行いました。

本校からは、神楽の演舞、柔道の模範演技と体験、手作りの記念品の贈呈(手ぬぐいエコバック、押し団扇)を行いました。今年は、本校から2名の生徒がベルンドルフ市へ海外派遣され、ホームステイすることになっています。現地で、また会いましょう！



大迫高校 公式 Note 大迫高校の情報を随時更新・掲載しています。スマートフォンやタブレットをご利用の方は、右上のQRコードを読み取っていただければ、「Note」の大迫高校公式サイトにつながります。

<https://ooh-hs.note.jp/>

